

ガートナー ITインフラストラクチャ、 オペレーション & クラウド戦略コンファレンス

2019年4月23日(火)・24日(水)・25日(木) | 八芳園本館
gartner.co.jp/event/dc/

開催概要

会期：2019年4月23日(火)・24日(水)・25日(木)

会場：八芳園本館

白金台駅(東京メトロ南北線・都営三田線)2番出口 徒歩約1分

主催：ガートナー ジャパン株式会社



参加料金(1名様)

早期割引価格：128,000円(税別)
2019年3月12日(火)まで

通常価格：145,000円(税別)
2019年3月13日(水)～2019年4月22日(月)まで

グループ登録特典

4for3 同時に4名様ご登録で、1名様分無料になります。

7for5 同時に7名様ご登録で、2名様分無料になります。

10for7 同時に10名様ご登録で、3名様分無料になります。

参加セッションは事前登録制です
ガートナー サミットのセッションはすべて事前登録制です。
セッション登録は2019年3月上旬開始予定です。
サミットの参加登録がお済みのお客様へ
3月上旬に「セッション登録開始のお知らせ」メールをお送りする予定です。

参加対象者

- ・CIO/経営者
- ・IT戦略・企画業務ご担当者
- ・情報システム部門の責任者およびご担当者
- ・ITインフラのリーダーおよび責任者
- ・経営戦略/企画部門の責任者およびご担当者
- ・テクノロジーコンサルタント

お申込み方法

gartner.co.jp/event/dc/ からお申込みください。

もしくは、貴社担当営業へお申し付けください。

- ・お申込み確認後、登録事務局より請求書を発送いたします。
- ・お支払い方法、キャンセル規定の詳細は、Webサイトにてご確認ください。

お問い合わせ先

ガートナー ジャパン株式会社 サミット登録事務局

受付時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

Tel : 03-6430-1810 Fax : 03-6430-1927

Email : japan.events@gartner.com

ガートナー ITインフラストラクチャ、 オペレーション & クラウド戦略コンファレンス

2019年4月23日(火)・24日(水)・25日(木) | 八芳園本館
gartner.co.jp/event/dc/

未来志向2030: 新たな時代へ

参加登録受付中

2019年3月12日まで早期割引価格にて
お申込みいただけます。


未来志向2030: 新たな時代へ


2030年に向け、テクノロジーはさらに進化します。これからの時代、テクノロジーを駆使できる企業とそうでない企業に分かれます。


前者は競争優位性がさらに増し、後者は企業そのものが破壊される可能性があります。新たな時代の幕開けを目の前にし、企業やIT部門のリーダーおよび担当者は、過去の延長ではなく、新たな世界(New World)を自ら描き、そのビジョンに向けて新たなスキル、マインド、カルチャー、スタイルを含む実行能力の獲得を加速する必要があります。

本コンファレンスでは、未来志向のビジネスおよびテクノロジーのリーダーに対して、昨今の状況と将来の方向を踏まえ、採るべき戦略、アクションとアドバイスを提示します。


トピックス


 デジタル・ディスラプションへの
継続的備え (ContinuousNext)

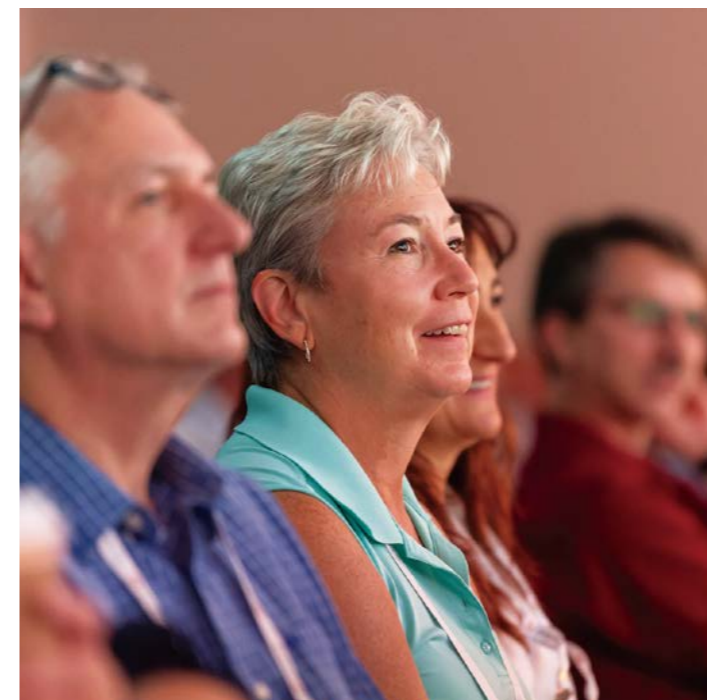
 ITインフラ人材に求められる新たな
スキル、マインド、芸風(スタイルと
カルチャー)の獲得

 AIやクラウドの戦略をどう作り、
実行していくか

 モード1の将来のシナリオ

 IoT、VR/AR、ブロックチェーン、
量子コンピュータといったテクノロジー
をどう捉え、何をすべきか

 デジタル・ワークプレース



基調講演



コンファレンス・チェア
亦賀 忠明
ディスティングイッシュト
バイス プレジデント,
アナリスト

ガートナー オープニング基調講演 新しい時代へ

新たな時代が始まろうとしている。そこでは、これまでの延長ではないNew Worldとしてのインフラ戦略が求められる。それは、デジタル、モード2、クラウドを前提とするものとなる。本セッションでは、ディスラプションへの備えを加速するための次世代のインフラ戦略、IT組織と人の在り方について述べる。

ガートナー基調講演

ITインフラストラクチャの未来:場所を問わず常時接続/常時利用が可能な世界

I&Oリーダーは、グローバル展開を可能にし、レイテンシやカスタマー・エクスペリエンス、コンプライアンスなどのビジネス問題を解決するために、戦略を進化させ、俊敏性の高いインフラストラクチャをビジネス部門に提供しなければならない。それと同時に、新しい市場に参入できる柔軟性を、時間や場所を問わず迅速にもたらす必要もある。

そのためには、従来型のコンピューティングに加え、エッジ・コンピューティングにおける最新トレンド、IoT、AI/機械学習、絶えず変化するクラウド・マーケットプレースの活用が不可欠である。I&Oリーダー自身もスキルやプロセス、役割を進化させて、この素晴らしい新世界をサポートすることが求められている。



デイヴィッド・カプッチオ
ディスティングイッシュト
バイス プレジデント,
アナリスト



トーマス・ビットマン
ディスティングイッシュト
バイス プレジデント,
アナリスト



ミリンド・ゴヴァーカー
バイス プレジデント,
アナリスト



池田 武史
バイス プレジデント,
アナリスト

ガートナー クロージング基調講演 リセット:新たな時代の始まり

デジタルによって構築される新たな世界では、あらゆるものがつながるインフラの駆使を前提としたビジネスの時代が到来する。テクノロジーの進化はリアルとバーチャルの融合を加速させ、デジタル・ツインを生み、インテリジェンスがさらなる進化を促進する。組織のテクノロジー・リーダーは、今こそ、何を継続し何を变えるべきかを改めて問い、すべてを見直す絶好の機会とすべきである。本セッションでは、新たな時代の始まりに何をすべきかについて深く議論する。

4月23日~25日のゲスト基調講演情報はWebサイトをご覧ください。

ガートナー・エキスパート

コンファレンス・チェア

亦賀 忠明

Tadaaki Mataga
ディスティングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト



- デジタル・ディスラプション
- AI、クラウド・コンピューティング
- 戦略的テクノロジートレンド
- メインフレーム
- 先端テクノロジー、未来志向
- 戦略、人材投資

青山 浩子

Hiroko Aoyama
シニア プリンシパル
アナリスト



- ITインフラストラクチャ、日本サーバ市場、統合システム、コンバインド・インフラストラクチャ、ハイパーコンバインド・インフラストラクチャ
- OSS、Linux

デイヴィッド・カプッチオ

David J. Cappuccio
ディスティングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト



- インフラストラクチャ・デリバリの計画／実現
- 信頼できるインフラストラクチャの構築と維持
- インフラストラクチャのイノベーションとアジリティの加速
- ハイブリッド・データセンター、インフラストラクチャとクラウドの戦略／設計／コスト
- エッジ・コンピューティングとマイクロデータセンター
- データセンターの統合と移行

ミ lind・ゴヴァカー

Milind Govekar
バイス プレジデント
アナリスト



- クラウド・コンピューティング、クラウド管理戦略
- I&O自動化
- サーバレス・インフラストラクチャ
- ITサービス管理のベスト・プラクティス
- ITオペレーション変革
- インフラストラクチャのイノベーションとアジリティの加速
- 人工知能

池田 武史

Takeshi Ikeda
バイス プレジデント
アナリスト



- 企業のITインフラに関する戦略、構築、運用について、特にネットワーキングとコミュニケーションの視点からの支援・助言

阿部 恵史

Yoshifumi Abe
シニア ディレクター
アナリスト



- ITオペレーション管理における技術動向、市場動向、将来予測、ベンダー分析
- ITオペレーション管理に関するインフラ戦略と推進に関わる支援・助言
- ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)における技術動向、市場動向、ベンダー分析

トーマス・ビットマン

Thomas J. Bittman
ディスティングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト



- クラウド・コンピューティング
- インフラストラクチャのイノベーションとアジリティの加速
- 信頼できるインフラストラクチャの構築と維持
- エッジ・コンピューティング、エッジを推進するアプリケーション
- サーバ仮想化に関する選定、導入、戦略、将来

デイヴィッド・コイル

David M. Coyle
プラクティス バイス プレジデント



- DevOpsのプラクティスによるパイモダルの企業の実現
- インフラストラクチャのイノベーションとアジリティの加速
- I&Oとデータセンターへの影響が大きいトレンド
- デジタル・ビジネスとパイモダルのI&Oに及ぼす影響
- I&Oのリーダーが組織を成熟化させる方法
- データセンター業界の今後、ITサービスマネジメント業界の現状

針生 恵理

Eri Hariu
シニア プリンシパル
アナリスト



- エンドポイント・コンピューティング全般における技術動向、市場動向、将来予測、ベンダー分析
- クライアントOS、デバイス、デスクトップ仮想化に関する技術動向、動向分析
- ウェアラブル、AR/VR/MR、仮想アシスタントなどのエンドポイント・テクノロジーに関する企業動向分析
- モバイル・コンピューティングに関する戦略立案・支援・助言

桂島 航

Wataru Katsurashima
シニア ディレクター
アナリスト



- ソフトウェアおよびクラウドによるITインフラストラクチャの変革
- ITインフラストラクチャ戦略
- ITインフラストラクチャ・ビジネスにおけるGo-To-Market戦略(ベンダー企業)
- クラウド・コンピューティング
- ハイパーコンバインド・インフラストラクチャ
- 仮想化 / コンテナ
- 自動化

長嶋 裕里香

Yurika Nagashima
マネージング バイス プレジデント



- ITオペレーション管理における技術動向、市場動向、将来予測、ベンダー分析
- ITオペレーション管理に関するインフラ戦略と推進に関わる支援・助言

クリス・シルバ

Chris Silva
バイス プレジデント
アナリスト



- モバイル、エンドポイント、ウェアラブル・コンピューティングの戦略
- デジタル・ワークスペース・プログラム
- エンドポイント / モバイルのセキュリティ
- 近代的な管理とUEMへの移行
- ベンダーの選定とエンドポイント管理ツールに関する交渉

鈴木 雅喜

Masaki Suzuki
バイス プレジデント
アナリスト



- ブロックチェーンのテクノロジーと活用、デジタル・ビジネスに向けた戦略 / 取り組み
- データやストレージを中心としたITインフラとクラウド戦略の立案と運用、ハイパーコンバインド統合システム
- 文書管理、コンテンツ管理、ファイル共有サービスのトレンド分析とユーザー戦略
- 上記テーマに関わる人材 / 組織戦略への支援・助言

蒔田 佳苗

Kanae Maita
シニア プリンシパル
アナリスト



- パーソナル・アシスタント・ロボット、ウェアラブル・デバイス、パーソナル・コンピューティングおよびコンシューマー・デバイス市場に関する市場分析と予測、技術 / ベンダー / 業界分析およびそれらにまつわる提案・助言、ビジネス成長戦略への提言
- 企業エンドユーザーのコミュニケーション・ロボット、ウェアラブル・デバイス、クライアント・コンピューティングに関するベンダー選定の支援

志賀 嘉津士

Katsushi Shiga
バイス プレジデント
アナリスト



- グループウェアや電子メール、コラボレーション・ツールに関するリサーチ
- クラウド・オフィスに関するリサーチ
- デジタル・ワークスペースに関するリサーチ
- エンタプライズ・ソーシャル・ソフトウェアに関するリサーチ

ジョージ・スパフフォード

George Spafford
シニア ディレクター
アナリスト



- DevOpsのプラクティスによるパイモダルの企業の実現
- 企業IT組織におけるDevOpsの最適な実装 / 活用方法
- ITオペレーション変革
- 企業IT組織におけるサイト・リライアビリティ・エンジニアリング(SRE)の最適な実装 / 活用方法
- ITオペレーションにおける技術的変更管理の実装 / 改善方法

ギャビン・テイ

Gavin Tay
シニア ディレクター
アナリスト



- デジタル・ワークスペース・プログラム / 戦略 / 評価指標
- デジタル・ワークスペース・アプリケーション
- クラウド・オフィス (Office 365、G Suite) のコンテンツ移行
- SharePoint
- スマート・ビルディングの基本概念

各アナリストのプロフィールはWebサイトをご覧ください。

多様なプログラムでお客様の課題解決をサポートします

アナリストとのディスカッション

One-on-Oneミーティング
お客様の課題に対して、アナリストがお答えする「1対1」型の個別ミーティングです。

Ask the Analyst
「Ask the Analyst」は、参加者とアナリストによるQ&Aセッションです。トピックに関する様々な質問にアナリストが直接回答します。

ワークショップ
アナリストがファシリテーターを務めるワークショップでは、特定のテーマで演習やディスカッションを行います。

専門セッション

AAI 各アナリストが、それぞれの専門分野に特化したプレゼンテーションを提供します。

ネットワーキング

ネットワーキング・レセプション
軽食とお飲み物をご用意してお待ちしております。くつろいだ雰囲気の中でアナリストとの意見交換や、ご参加者様同士のネットワーキングをお楽しみください。

先進テクノロジーとソリューション

ソリューション・プロバイダー・セッション
ソリューション・プロバイダーが、デジタル・ビジネス変革を実現するための具体的な方策や、最新ソリューションをプレゼンテーションします。

展示会
サミット会場で貴社の課題を解決するベスト・ソリューションをご覧ください。

ソリューション・プロバイダー・ミーティング
各ソリューションの専門家、テクノロジー・スペシャリストとの個別ミーティングです。

One-on-Oneミーティングについて

- ・1回30分の個別ミーティングです。お一人様1回ご参加いただけます。
- ・ミーティングはトピックのご指定だけでも行えます。最適なアナリストとのミーティングをアレンジさせていただきます。
- ・One-on-Oneミーティング担当のアナリスト情報はP4-P5もしくはWebサイトをご覧ください。

お申込み方法 貴社担当営業へお申し付けください。3月上旬よりWebサイト上でもお申込みいただけます。

2018年の同サミット参加者のコメント

「ITインフラの動向を把握でき、これからのシステム作りの方向性を把握できる。」

「自分達の知らないところで、世界は物凄い速さで動いていることを実感できた。」

「市場動向とユーザーが求めていることを理解する上で有効。」

「技術の進展をブース等でも感じる事ができた。」

「One-on-Oneミーティングで方針についての確かなアドバイスを貰った。」



亦賀 忠明
ディスティングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト

トラック

主なセッション

A デジタル・ビジネス戦略

デジタルはオプションではなくマストになっています。2020年以降、デジタル・ディストラクションはさらにリアリティを増し、企業の存亡自体に大きな影響を与えるものとなるでしょう。本トラックでは、劇的に変化するテクノロジーとビジネス環境の中で、企業、リーダー、担当者が採るべき戦略について提言します。

- ・新たな時代に向け獲得すべきマインドセット
- ・デジタル・ビジネス:未来に向けた一歩を刻む
- ・IoTの重要トレンドとテクノロジー

B クラウドの戦略と未来

クラウド・コンピューティングが登場してから10年以上が経過した今、クラウド・コンピューティングは、ITの未来として語られたものの多くを実現する手段になりつつあります。本トラックでは、激変するクラウド・コンピューティングを踏まえ、どのようなクラウド戦略を立案するかについて考察します。

- ・クラウド・コンピューティング・トレンド 2019(春)
- ・混在型インフラストラクチャ環境への道のり:プライベート・クラウド、パブリック・クラウド、エッジ
ほか

C ITオペレーションとDevOpsの発展

I&Oリーダーは、デジタルの推進のために、ITオペレーションの目標を再定義する必要がありますが、このような変革は容易ではありません。本トラックでは、インフラストラクチャとオペレーションのプロセス/テクノロジーにフォーカスし、ITオペレーション・リーダーとそのチームがどのように対処すべきか提言します。

- ・DevOps 2019:巻き返しへのステップ
- ・RPAの光と影:2019年のチャレンジ
- ・2023年におけるITオペレーション管理のシナリオ:スマートかつ迅速で流れるような管理
ほか

D デジタル・インフラストラクチャにおけるイノベーションと最新トレンド

デジタル時代における成功を目指すI&Oリーダーは、ITやビジネスに大きな利益をもたらす新しいトレンドやテクノロジーを理解しながら、次世代ワークロードに必要なテクノロジー・アーキテクチャ、プロセス、人材を抜本的に見直す「創造的なディストラクション」に乗り出さなければなりません。I&Oリーダーは、模索しながら、変革力のある意思決定を下すことになるでしょう。本トラックでは、そのようなI&Oリーダー向けに、「オペレーションの安定性」と「最新トレンドの活用」の最適なバランスを見極める方法を提言します。

- ・ブロックチェーンの真実:その現実と未来
- ・企業はスマート・ロボットとどう向き合うべきか
- ・将来に向けて注目すべき5つのエンドポイント・テクノロジー
- ・モバイル・テクノロジーのトップ10
ほか




E デジタル・ワークスペースとカルチャー変革








あらゆる業界においてデジタル・ビジネスになりつつある今日、組織は最大の資産である従業員の仕事と連携の在り方を見直す必要に迫られています。今、日本企業はスキルセット、マインドセット、スタイルとカルチャーの転換を図るべき時期にきています。本トラックでは、テクノロジーに加えて、従業員エンゲージメントを高める手法や、消費者重視のスタイルを活用することで、従業員の生産性と俊敏性を向上させ、デジタル・ワークスペースを成功に導く方法を提示します。

- ・会議をデジタル化し効率性を高める手法
- ・2025年における働き方
- ・仕事の将来 — 2035年のシナリオ:ロボットが大半を占める職場をリーダーはいかに管理するか
- ・デジタル時代に最適なI&O部門の組織構造を実現する
ほか

タイムテーブル

4月23日(火)	9:15-10:15	GK1. オープニング基調講演 新しい時代へ 亦賀 忠明 				
	10:35-11:20	GU1. ゲスト基調講演 近日公開 				
	11:35-12:20	LS ランチョン・セッション				
	12:35-13:20	11A. I&Oおよびデジタル・インフラストラクチャに 影響を及ぼすトレンドのトップ10 デイヴィッド・カプッチオ B 	11B. IoTの重要トレンドとテクノロジー 池田 武史 A	11C. 2018年以降のインフラストラクチャと オペレーションのビジョン ミリンド・ゴーヴァカー C 	11D. DevOps 2019: 巻き返しへのステップ 阿部 恵史 C	
	13:35-14:20	SPS ソリューション・プロバイダー・セッション				
	15:00-15:45	13A. 混在型インフラストラクチャ環境への道のり: プライベート・クラウド、パブリック・クラウド、エッジ トーマス・ビットマン B 	13B. 将来に向けて注目すべき 5つのエンドポイント・テクノロジー 針生 恵理 D	13C. DevOpsシナリオ: 継続的な製品デリバリーでビジネス価値を提供する ジョージ・スパッフォード C 	13D. 会議をデジタル化し効率性を高める手法 志賀 嘉津士 E	13E. [Ask the Analyst] 新時代のITモニタリングの実践に備えよ 阿部 恵史 C
	16:00-16:45	SPS ソリューション・プロバイダー・セッション				
	17:00-17:45	15A. 2023年におけるITオペレーション管理の シナリオ: スマートかつ迅速で流れるような管理 デイヴィッド・コイル C 	15B. クラウド・コンピューティング・トレンド2019(春) 亦賀 忠明 B	15C. デジタル・ワークスペースにおける 従業員コミュニケーションの戦略的な役割 ギャビン・テイ E 	15D. デジタル・ビジネス: 未来に向けた一歩を刻む 鈴木 雅喜 A	15E. [Ask the Analyst] IT部門はIoTとどう向き合うべきか 池田 武史 D
17:45-19:15	 ネットワーキング・レセプション ※軽食とお飲物を用意してお待ちしております。アナリストとの意見交換や、ご参加者様同士の情報交換の場として、ぜひご利用ください。					

4月24日(水)	9:00-9:45	GK2. ガートナー基調講演 ITインフラストラクチャの未来: 場所を問わず常時接続/常時利用が可能な世界 デイヴィッド・カプッチオ/トーマス・ビットマン/ミリンド・ゴーヴァカー 				
	10:00-10:45	SPS ソリューション・プロバイダー・セッション				
	11:00-11:45	GU2. ゲスト基調講演 近日公開 				
	12:00-12:45	LS ランチョン・セッション				
	13:00-13:45	22A. 2025年における働き方 ギャビン・テイ E 	22B. RPAの光と影: 2019年のチャレンジ 阿部 恵史 C	22C. モバイル・テクノロジーのトップ10 クリス・シルバ D 	22D. ファイル活用とペーパーレス 鈴木 雅喜 D	
	14:00-14:45	SPS ソリューション・プロバイダー・セッション				
	15:25-16:10	24A. 継続的改善こそが成功の「秘密兵器」 ジョージ・スパッフォード E 	24B. 企業はスマート・ロボットとどう向き合うべきか 蒔田 佳苗 D	24C. デジタル・ビジネスのスピードへの対応: ITモニタリングの未来 デイヴィッド・コイル D 	24D. クラウド・ネイティブの時代、ベンダーと システム・インテグレーターはどう変わるべきか 桂島 航 B	24E. [Ask the Analyst] 新たな時代にふさわしいネットワークに移行する 池田 武史 D
	16:25-16:55	SPS ソリューション・プロバイダー・セッション				
17:10-17:55	26A. エッジで生きる: デジタル・ビジネスで エッジへと移行するインフラストラクチャ トーマス・ビットマン B 	26B. ハイパーコンバージェンスを 前進させるための心得 青山 浩子 D	26C. 2020年以降を見据えた エンドポイント戦略の策定 クリス・シルバ D 	26D. [Ask the Analyst] ファイル活用: ビジネス・ニーズをどう捉えるべきか 鈴木 雅喜 D	26E. [Ask the Analyst] 仮想デスクトップ・サービス: DaaSへの期待と現実 針生 恵理 D	

4月25日(木)	9:00-9:45	31A. 仕事の将来 — 2035年のシナリオ: ボットが大半を占める職場をリーダーはいかに管理するか ギャビン・テイ E 	31B. ブロックチェーンの真実: その現実と未来 鈴木 雅喜 D	31C. デジタル時代に最適なI&O部門の組織 構造を実現する デイヴィッド・コイル E 	31D. [Ask the Analyst] メインフレームをどうすべきか2019 亦賀 忠明 D
	10:00-10:45	SPS ソリューション・プロバイダー・セッション			
	11:00-11:45	GU3. ゲスト基調講演 近日公開 			
	12:00-12:45	LS ランチョン・セッション			
	13:05-13:50	33A. データセンターの終焉: 次世代インフラストラクチャの構築 デイヴィッド・カプッチオ D 	33B. 新たな時代に向け獲得すべきマインドセット 亦賀 忠明 A	33C. 未来のサーバは「サーバレス」なのか? — CIOがサーバレスに関して知っておくべきこと ミリンド・ゴーヴァカー B 	33D. 13:05-13:35 (30分) ハイパーコンバージド・インフラストラクチャの マジック・クアドラント 青山 浩子 D
	14:05-14:50	SPS ソリューション・プロバイダー・セッション			
	15:30-16:15	GU4. ゲスト基調講演 近日公開 			
	16:30-17:00	SPS ソリューション・プロバイダー・セッション			
17:15-17:45	GK3. クロージング基調講演 リセット: 新たな時代の始まり 池田 武史 				
					35WS. [ワークショップ] 15:30-17:00 (90分) イノベーション・ワークショップのイノベーション 長嶋 裕里香 E


トラック **A** デジタル・ビジネス戦略 **B** クラウドの戦略と未来 **C** ITオペレーションとDevOpsの発展 **D** デジタル・インフラストラクチャにおけるイノベーションと最新トレンド **E** デジタル・ワークスペースとカルチャー変革

記載内容は2019年1月10日現在のものです。最新の情報はWebサイトをご覧ください。

ガートナー セッション

表記について			
Ask the Analyst*	参加者とアナリストによるQ&Aセッション(参加対象：ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方)		
ワークショップ(WS)*	少人数のグループで演習を行っていただきます(参加対象：ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方)		
※お席に限りがございますので早めにご登録をお願いいたします。お席に余裕がある場合に限り、事前登録なしの当日のご参加も可能となります。			
トラック	A デジタル・ビジネス戦略	D デジタル・インフラストラクチャにおけるイノベーションと最新トレンド	
	B クラウドの戦略と未来		
	C ITオペレーションとDevOpsの発展	E デジタル・ワークスペースとカルチャー変革	


1日目：4月23日(火)

GK1 4月23日(火) 9:15-10:15 (60min) 

ガートナー オープニング基調講演 新しい時代へ

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト 亦賀 忠明

新たな時代が始まろうとしている。そこでは、これまでの延長ではないNew Worldとしてのインフラ戦略が求められる。それは、デジタル、モード2、クラウドを前提とするものとなる。本セッションでは、ディストラクションへの備えを加速するための次世代のインフラ戦略、IT組織と人の在り方について述べる。

11A 4月23日(火) 12:35-13:20 (45min) **B** 

I&Oおよびデジタル・インフラストラクチャに影響を及ぼすトレンドのトップ10

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト
デイヴィッド・カプッチオ


I&Oリーダー、CIO、CTOは、既存のIT運用を維持しつつ、ビジネス・リーダーによってますます導入される新たなテクノロジーに適応することに苦慮しているため、短期的なプランニングの視点を超えて考察する時間がほとんどない。本セッションでは、ビジネスとテクノロジーの両方における最新トレンドを紹介し、それらがITに及ぼし得る影響について解説することで、ITリーダーが時代を先取りできるよう支援する。

11B 4月23日(火) 12:35-13:20 (45min) **A**

IoTの重要トレンドとテクノロジー

バイス プレジデント, アナリスト 池田 武史

さまざまな業界において少しずつチャレンジが始まっているIoTに対しては、自社が求める成果に応じた適切なアプローチを取る必要がある。本セッションでは、IoTの実現に関連する重要なトレンドおよびテクノロジーに関して、取り組みの理想と実状を明らかにし、より現実的な計画を推進するためのアドバイスをを行う。

11C 4月23日(火) 12:35-13:20 (45min) **C** 

2018年以降のインフラストラクチャとオペレーションのビジョン

バイス プレジデント, アナリスト ミリンド・ゴーヴァカー


I&Oリーダーは、デジタル・ビジネスのニーズに即応できる俊敏で拡張性に優れた戦略を策定するために、決断力を持って迅速に行動を起こす必要がある。自動化機能、拡張性、俊敏性を兼ね備えたI&Oテクノロジーを活用し、柔軟性に乏しく脆弱で複雑なI&O環境を一新することが求められる。I&Oリーダーは、破壊的な状況が続くこうした環境において、人材、プロセス、テクノロジーに対する自らのアプローチを再考し、ビジネス目標と歩調を合わせていかなければならない。本セッションでは、このような環境を「どう生き抜くか」だけでなく、その中で「どう成功するか」についても学んでほしい。

11D 4月23日(火) 12:35-13:20 (45min) **C**

DevOps 2019:巻き返しへのステップ

シニア ディレクター, アナリスト 阿部 恵史

DevOpsの取り組みは、海外と日本で差が開き続けている。しかし、日本でも少しずつ採用に踏み切る企業が出てきた。ITをビジネスの成長に最大限活用できるようにするには、いかにDevOpsを導入していくべきか。海外企業との差を縮め、競争力を強化するためのDevOps導入・実践のステップを、実例を踏まえて概説する。

13A 4月23日(火) 15:00-15:45 (45min) **B** 

混在型インフラストラクチャ環境への道のり： プライベート・クラウド、パブリック・クラウド、エッジ

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト
トーマス・ビットマン

企業は、デジタル・ビジネスへ、さらにはアプリケーション・ポートフォリオの拡大へと歩みを進めている。I&Oリーダーは、アジャイル開発、迅速かつリアルタイムな拡張、遅延の少ないアナリティクスに対するサポートを強化しながら、既存アプリケーションの近代化を図る必要がある。将来のインフラストラクチャは、エンタプライズ・データセンター、クラウド、エッジへと広がっていくが、これを可能にし、管理するのはI&O部門である。

1日目：4月23日(火)


13B 4月23日(火) 15:00-15:45 (45min) **D**

将来に向けて注目すべき

5つのエンドポイント・テクノロジー

シニア プリンシパル, アナリスト 針生 恵理

エンドユーザー・コンピューティングは、大きく変わろうとしている。AR/VR、ウェアラブル、位置情報、音声認識、AIなど、新たなテクノロジー領域がデジタル・ワークスペースを変え得る力を持つようになってきている。こうしたトレンドを受け、企業は将来のエンドユーザー・コンピューティングに関して、従来の枠を超え、感度を上げて取り組み、次の計画を策定する必要がある。本セッションでは、エンドユーザー・コンピューティングについて、ユーザー企業が押さえておくべき重要なトレンドを整理し、推奨を行う。

13C 4月23日(火) 15:00-15:45 (45min) **C** 

DevOpsシナリオ:継続的な製品デリバリーで ビジネス価値を提供する

シニア ディレクター, アナリスト ジョージ・スパッフオード

DevOpsはビジネスを大幅に強化できるが、多くの組織は苦勞して取り組みをスタートさせても、次にスピードとリスクのバランスという問題に直面する。必要なのは、組織文化、プロセス、テクノロジー、スキルの変革である。本セッションでは、DevOpsアーキテクトがコストとリスクを管理しながら確実にビジネス価値を提供するために、適切な目標、スキル、責任、テクノロジー、優先課題を判断できるよう支援する。

13D 4月23日(火) 15:00-15:45 (45min) **E**

会議をデジタル化し効率性を高める手法

バイス プレジデント, アナリスト 志賀 嘉津士

単純な仕事が次々とIT化され、AIに取って代わられるようになると、人間には人間にしかできない仕事が一層求められることになる。その結果、ビジネス・ワーカーが会議や打ち合わせに費やす時間はさらに増え、会議の持つ意味はこれまで以上に重要になってくる。本セッションでは、デジタル技術によるさまざまな取り組みを通して、会議の効率性と価値を高める方策や、新たな会議エクスペリエンスなどについて議論する。

13E 4月23日(火) 15:00-15:45 (45min) **C**


【Ask the Analyst】

新時代のITモニタリングの実践に備えよ

シニア ディレクター, アナリスト 阿部 恵史

クラウド、モバイルの利用や新しいサービス・アーキテクチャの採用が進むにつれ、ITインフラストラクチャとアプリケーションはより複雑になり、従来のITモニタリング手法やツールが機能しなくなりつつある。本セッションでは、新時代のITモニタリングを実践するための、ITモニタリング戦略立案のステップを解説する。(注:ご参加に際しましては、アナリストへの質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
少人数セッションにつきお席に限りがございます。
ご参加希望の方は早めのお申込みをお勧めいたします。

15A 4月23日(火) 17:00-17:45 (45min) **C** 

2023年におけるITオペレーション管理のシナリオ： スマートかつ迅速で流れるような管理

プラクティス バイス プレジデント デイヴィッド・コイル


本セッションでは、ITオペレーション管理チームが将来備えるべきこと、大半の企業の現状、将来へ対応するための方法について解説する。

15B 4月23日(火) 17:00-17:45 (45min) **B**

クラウド・コンピューティング・トレンド2019(春)

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト 亦賀 忠明

デジタルの推進にとってクラウドはマストになる。本物のクラウドを「自分で運転」しようとするユーザー企業も増えてきている。一方で、いまだ一歩を踏み出せない企業も多い。本セッションでは、クラウドの最新トレンドをアップデートするとともに、クラウドの運転に一歩踏み出すための考え方を整理し、提言を行う。

15C 4月23日(火) 17:00-17:45 (45min) **E** 

デジタル・ワークスペースにおける 従業員コミュニケーションの戦略的な役割

シニア ディレクター, アナリスト ギャビン・テイ

有意義な従業員エンゲージメントの価値をリーダーシップ・チームが改めて認識ようになったことから、従業員コミュニケーションは「ルネッサンス(再生)」時代を迎えている。洗練された近代的なコミュニケーションへの取り組みでは、従業員が中心に据えられ、ビジネスおよび組織文化の目標に合わせて個人の価値を最適化できるようコミュニケーション・エクスペリエンスが設計されている。本セッションでは、テクノロジー・オプションを浮き彫りにするユースケース例を交えながら、戦略的フレームワークについて解説する。

ガートナー セッション

1日目：4月23日(火)

15D 4月23日(火) 17:00-17:45 (45min) A

デジタル・ビジネス：未来に向けた一歩を刻む

バイス プレジデント, アナリスト 鈴木 雅喜

日本でもデジタル・ビジネスに取り組む企業が大勢を占めるようになったものの、その多くがさまざまな課題に直面している。そうした壁を打破することは、自社のデジタル化を進める上で役立つのみならず、より幅広い、未来に向けた新たな取り組みを行う際にも有効となる。

本セッションでは、日本におけるユーザー調査の結果を交え、デジタル・ビジネスを進める日本のテクノロジー・リーダーに向けた提言を行う。

15E 4月23日(火) 17:00-17:45 (45min) D

【Ask the Analyst】IT部門はIoTとどう向き合うべきか

バイス プレジデント, アナリスト 池田 武史

IT部門はIoTの社内推進において重要なポジションにあるが、さまざまなチャレンジが存在し、積極的に貢献できていないケースもまだ多い。本セッションでは、IoT推進リーダーおよびITリーダーを対象に、どのような体制で、何から始めればよいかについてのQ&Aを実施する。(注：ご参加に際しましては、アナリストへの質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の少数人数セッションにつきお席に限りがございます。ご参加希望の方は早めのお申込みをお勧めいたします。



2日目：4月24日(水)

GK2 4月24日(水) 9:00-9:45 (45min) A

ガートナー基調講演 ITインフラストラクチャの未来：場所を問わず常時接続／常時利用が可能な世界

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト デイヴィッド・カプッチオ
ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト トーマス・ビットマン
バイス プレジデント, アナリスト ミリンド・ゴヴァカー

I&Oリーダーは、グローバル展開を可能にし、レイテンシやカスタマー・エクスペリエンス、コンプライアンスなどのビジネス問題を解決するために、戦略を進化させ、俊敏性の高いインフラストラクチャをビジネス部門に提供しなければならない。それと同時に、新しい市場に参入できる柔軟性を、時間や場所を問わず迅速にもたらす必要がある。

そのためには、従来型のコンピューティングに加え、エッジ・コンピューティングにおける最新トレンド、IoT、AI / 機械学習、絶えず変化するクラウド・マーケットプレースの活用が不可欠である。I&Oリーダー自身もスキルやプロセス、役割を進化させて、この素晴らしい新世界をサポートすることが求められている。

22A 4月24日(水) 13:00-13:45 (45min) E A

2025年における働き方

シニア ディレクター, アナリスト ギャビン・テイ

AI、自動化機能、IoTをはじめとするさまざまなテクノロジーが、人口構成や社会の大きな変化と相まって、今後6年間にわたる仕事の遂行方法に甚大な影響を及ぼすだろう。本セッションでは、2025年を見据え、働き方における最大の変化を予測する。また、そうした変化にどう準備し、この大転換期をどう生かせばよいのかについて指針を示す。

22B 4月24日(水) 13:00-13:45 (45min) C

RPAの光と影：2019年のチャレンジ

シニア ディレクター, アナリスト 阿部 恵史

ユーザー企業におけるRPAの取り組みのステージは、「RPAを使うか否か」という議論から、「RPAをどう活用すべきか、いかに適用を拡大すべきか」の検討にシフトしつつある。しかし、RPAの適用拡大にはメリットと同時にリスクもある。

本セッションでは、RPAを企業内に根付かせ、リスクをコントロールしながらメリットを得られるようにするために、実例を交えながら取り組むべき課題を明らかにする。

22C 4月24日(水) 13:00-13:45 (45min) D A

モバイル・テクノロジーのトップ10

バイス プレジデント, アナリスト クリス・シルバ

I&Oリーダーにとって重要な事項が3つある。第1に、モバイル・テクノロジーのトレンド情報を常に収集すること。第2に、これらのうちのどのテクノロジーが組織の役に立ち、デジタル・ビジネス・トランスフォーメーションを促進するか、あるいは現状を改善するかを理解すること。第3に、未来のロードマップを構築することである。

本セッションでは、今後3年間におけるモバイル・テクノロジーのトップ10と、それらが組織にもたらす影響について探る。

2日目：4月24日(水)

22D 4月24日(水) 13:00-13:45 (45min) D

ファイル活用とペーパーレス

バイス プレジデント, アナリスト 鈴木 雅喜

働き方改革の追い風も相まってファイルの活用を進めようとする企業が増加し、文書管理系のさまざまなツールが乱立する中、多くの企業がどう取り組んでいくべきか悩んでいる。

本セッションでは、ファイル・サーバから文書管理ツールまでを網羅し、ファイル活用やペーパーレスに関して何をすべきかを提言する。

24A 4月24日(水) 15:25-16:10 (45min) E A

継続的改善こそが成功の「秘密兵器」

シニア ディレクター, アナリスト ジョージ・スパッフオード

継続的改善はよく話題に上るものの、具体的な成果をもたらす、十分な投資収益率を実現する継続的改善プログラムを運営している組織はわずかである。本セッションでは、拡張性と再現性を備えた継続的改善プログラムを構築するための要素に加え、組織のニーズに合わせてプログラムをカスタマイズする方法について理解を深めることができる。

24B 4月24日(水) 15:25-16:10 (45min) D

企業はスマート・ロボットとどう向き合うべきか

シニア プリンシパル, アナリスト 蒔田 佳苗

日本では、ビッグデータ、IoT、AI、ロボットが、就労人口の減少、高齢化、経済発展などの国家課題を解決に導くテクノロジーとして位置付けられており、AIによって柔軟性と自律性を高めたスマート・ロボットの活用機運も高まっている。

流通・農業・警備といった特定用途での業務効率化から、顧客や人と接点を持つ新たなサービス形態の模索に至るまで、さまざまな試験導入や実証実験が進んでいるが、AIに対する過度な期待とAIテクノロジーの未熟さが相まって、これに幻滅し使用を中止する企業も出ている。

この「モード2」テクノロジーでは、短期的な投資収益率を求めめるのではなく、戦略的投資という位置付けを前提とした経験から学び、「小さな成功」を積み重ねていくことが重要である。

24C 4月24日(水) 15:25-16:10 (45min) D A

デジタル・ビジネスのスピードへの対応：ITモニタリングの未来

プラクティス バイス プレジデント デイヴィッド・コイル

ITリソースの状況把握にしかITモニタリングを利用していない企業は、今後デジタル・ビジネスの敗者になる。

デジタル・ビジネスのサービス・デリバリー戦略全体においてITモニタリングが重要な要素になっていくのは明らかである。デジタル化が進む未来への途上で急速な変化に直面したとき、単に生き残るのではなく、そうした状況の中でも成功を収めたい場合には、本セッションの聴講を推奨する。

24D 4月24日(水) 15:25-16:10 (45min) B

クラウド・ネイティブの時代、ベンダーとシステム・インテグレーターはどう変わるべきか

シニア ディレクター, アナリスト 桂島 航

アプリケーションがクラウド上でネイティブに構築されるようになり、インフラに求められる要件が大きく変わりつつある。

本セッションでは、新しいクラウド・ネイティブのテクノロジーがビジネスにもたらすインパクトを解説するとともに、ベンダーとシステム・インテグレーターが目指すべき新たなサービスの方向性について提言する。

24E 4月24日(水) 15:25-16:10 (45min) D

【Ask the Analyst】新たな時代にふさわしいネットワークに移行する

バイス プレジデント, アナリスト 池田 武史

社内LANの構築と運用、インターネット接続とセキュリティ対策、電話とスマートフォンの融合、WAN回線とインターネットの使い分けなど、多くの企業は新たな時代に向けたネットワークに移行するタイミングを迎えている。本セッションでは、ITリーダーを対象に、まず何から手を付けるべきかについてQ&Aを実施する。

(注：ご参加に際しましては、アナリストへの質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方少数人数セッションにつきお席に限りがございます。ご参加希望の方は早めのお申込みをお勧めいたします。

26A 4月24日(水) 17:10-17:55 (45min) B A

エッジで生きる：デジタル・ビジネスでエッジへと移行するインフラストラクチャ

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト トーマス・ビットマン

デジタル・ビジネスは、物理的な世界とデジタル世界の融合を進めてインフラストラクチャの形を変え、新たなビジネス・モーメントを生み出す。

イマーシブ・テクノロジー、IoTテクノロジー、拡張現実が発展し、リアルタイムな意思決定やインテリジェンスの組み込みが、エッジ部のユーザーやモノの近くで行われるようになる。クラウド・コンピューティングは、インフラストラクチャとオペレーションを変えた。エッジ・コンピューティングが、次の変化の波となる。

26B 4月24日(水) 17:10-17:55 (45min) D

ハイパーコンバージェンスを前進させるための心得

シニア プリンシパル, アナリスト 青山 浩子


ハイパーコンバージェンスのトレンドは、次世代インフラに不可欠となるテクノロジーの進化とともに、今なお変化し続けている。

国内でも採用が増えるにつれ、ハイパーコンバージド・インフラへ期待が寄せられる一方で、既存のオンプレミス・システムをリノベーションし、デジタル・コアとしての価値を向上させるために、ユーザー企業は何を捨て、何を生かすべきかという取捨選択を迫られている。

本セッションでは、企業のオンプレミス・システムの将来に向けてハイパーコンバージェンスの取り組みを前進させるための重要ポイントと取るべきアクションを提示する。

ガートナー セッション

2日目：4月24日(水)

26C 4月24日(水) 17:10-17:55 (45min) **D** 

2020年以降を見据えたエンドポイント戦略の策定

バイス プレジデント, アナリスト クリス・シルバ

エンドポイント・テクノロジーは急速に進化しつつある。インフラストラクチャ & オペレーション・チームは、Windows 10への移行、多様化するプラットフォーム群の管理、SaaS導入といった中核的な活動を習得しつつ、複合現実やイメージ・エクスペリエンスに対応したウェアラブル・デバイス、従業員所有のデバイス、より柔軟な作業用ワークスペースづくりをサポートするという革新的なステップも講じなければならない。本セッションでは、こうした課題に対処し、これらのテクノロジーとそれに伴うイノベーションをサポートできるツールとプロセスを構築するために、エンドポイント・コンピューティング近代化戦略の概要について解説する。

26D 4月24日(水) 17:10-17:55 (45min) **D**

【Ask the Analyst】 ファイル活用：ビジネス・ニーズをどう捉えるべきか

バイス プレジデント, アナリスト 鈴木 雅喜

IT部門とビジネス部門の間にある溝は深く、なかなか埋まらない。しかし、デジタル時代のファイル活用を進めていくためには、この溝を埋めていくことが必要である。では、どう進めるべきか。このセッションでは、参加メンバーに発言を求めながら討議を進める。
(注：ご参加に際しましては、アナリストへの質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の少数人数セッションにつきお席に限りがございます。ご参加希望の方は早めのお申込みをお勧めいたします。

26E 4月24日(水) 17:10-17:55 (45min) **D**


【Ask the Analyst】 仮想デスクトップ・サービス：DaaSへの期待と現実

シニア プリンシパル, アナリスト 針生 恵理

DaaSは、ベンダーが提供するホスト上の仮想化されたデスクトップ環境を、企業ユーザーにオンデマンドで配信するものである。従来のオンプレミス型VDIに代わるものとして、IT部門の運用の負担を軽減し、ビジネスに合わせたより柔軟な環境を提供する手段として期待されている。本セッションでは、DaaSに対する期待とその現実について論じる。
(注：ご参加に際しましては、アナリストへの質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の少数人数セッションにつきお席に限りがございます。ご参加希望の方は早めのお申込みをお勧めいたします。

3日目：4月25日(木)

31A 4月25日(木) 9:00-9:45 (45min) **E** 

仕事の将来 — 2035年のシナリオ： ポットが大半を占める職場をリーダーはいかに管理するか

シニア ディレクター, アナリスト ギャビン・テイ


AIが実現するソフトウェアやハードウェアは、社会や職場にどのような影響を及ぼすだろうか。それは、不確実だが強い力、すなわちAIがどのような道筋を進んでいくかによって決まる。本セッションでは、仕事の将来について4つのシナリオを紹介し、労働力としてのヒューマン・マシンを管理する方法をシナリオごとにリーダーに提示する。また、仕事の将来に備えるべく、どのような中期的投資を行えばよいかについてもアドバイスする。

31B 4月25日(木) 9:00-9:45 (45min) **D**

ブロックチェーンの真実：その現実と未来

バイス プレジデント, アナリスト 鈴木 雅喜

ブロックチェーンへの期待値は依然として高いものの、逆に将来を悲観する声次第に大きくなっているのも事実である。市場が混乱している中で、何が真実なのか見えにくくなっている。企業はまずブロックチェーンの現状と未来を正しく理解し、自社の戦略を打ち立てていく必要がある。本セッションでは、日本におけるブロックチェーンの真実について語る。

31C 4月25日(木) 9:00-9:45 (45min) **E** 

デジタル時代に最適なI&O部門の組織構造を実現する

プラクティス バイス プレジデント デイヴィッド・コイル

ITインフラストラクチャ/オペレーション・グループは従来、テクノロジーや機能を軸に縦割りで編成されてきた。しかし、デジタル・ビジネスの要件はこれまで以上に動的に変化し、DevOpsへの対応も求められている。本セッションでは、これらに対処できるようなI&O組織を編成する方法について解説する。

31D 4月25日(木) 9:00-9:45 (45min) **D**


【Ask the Analyst】メインフレームをどうすべきか2019

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト 亦賀 忠明

メインフレームの将来は、極めて不透明になってきており、企業はこれからの10年に向けて、大きな決断を迫られている。本セッションでは、メインフレームを使っているユーザー企業からのさまざまな質問に答える。
(注：ご参加に際しましては、アナリストへの質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の少数人数セッションにつきお席に限りがございます。ご参加希望の方は早めのお申込みをお勧めいたします。

3日目：4月25日(木)

33A 4月25日(木) 13:05-13:50 (45min) **D** 

データセンターの終焉： 次世代インフラストラクチャの構築

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト デイヴィッド・カプッチオ


データセンターを所有し管理する時代が数十年間続いたが、今日の企業は、古いアプリケーションのサポートに加えて、クラウド・サービス、エッジ環境、IoTの導入とデジタル・エコノミーへの移行という課題に取り組みなければならない。本セッションでは、企業がこれらの課題をどう解決したらよいか、そして分散型グローバル・インフラストラクチャを構築し、その過程におけるリスクを最小限に抑えるにはどうすればよいかについて解説する。

33B 4月25日(木) 13:05-13:50 (45min) **A**

新たな時代に向け獲得すべきマインドセット

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト 亦賀 忠明

急速に変化する時代の中、あらゆる企業、組織において、旧来のマインドセットを新しいものへと切り替える重要性はかつてないほど高まっている。今の硬直したマインドセットのままでは、いくら新しいテクノロジーを導入しようとしても、うまくいくことは望めないし、時代感に即したデジタル戦略を推進することもできないであろう。逆に、柔軟な考え方を企業や組織に取り入れ、時間をかけながらも成熟させる企業は、これから生き残り、成功を収める可能性が高まる。本セッションでは、これからの時代に必要となるであろうマインドセットについて整理し、企業や組織が採るべき新たな指針について提言を行う。

33C 4月25日(木) 13:05-13:50 (45min) **B** 

未来のサーバは「サーバレス」なのか？ — CIOがサーバレスに関して知っておくべきこと

バイス プレジデント, アナリスト ミリンド・ゴーヴァカー

サーバレス・コンピューティングは、新たに登場したソフトウェア・アーキテクチャであり、インフラストラクチャとオペレーションの主要な活動の一部を不要にする。本セッションでは、サーバレスとほかのテクノロジーの相違点を説明し、チームでサーバレス・テクノロジーのサポートに当たるCIOおよびI&Oリーダーのベスト・プラクティスを紹介する。

33D 4月25日(木) 13:05-13:35 (30min) **D**

ハイパーコンバージド・インフラストラクチャの マジック・クアドラント

シニア プリンシパル, アナリスト 青山 浩子

ガートナーのマジック・クアドラントは、市場に関する分析と評価基準を提供し、ユーザー企業によるベンダーやサービスの選定を支援するものである。本セッションでは、ハイパーコンバージド・インフラストラクチャ(HCI)のマジック・クアドラントに基づいて市場概況および各ベンダーの評価を解説するとともに、日本のユーザー企業に対し、国内においてHCIベンダーを選定する際の推奨事項についても提示する。


35WS 4月25日(木) 15:30-17:00 (90min) **E**

【ワークショップ】 イノベーション・ワークショップのイノベーション

マネージング バイス プレジデント 長嶋 裕里香

本ワークショップでは、自社で新たなワークショップを展開するためのヒントを提供する。イノベーションという言葉が氾濫する中、「新たなアイデアが出てこない」という声は増える一方である。1度限りのワークショップからは、イノベーションは生まれない。今までのやり方を踏襲するだけのワークショップからも、イノベーションは生まれない。本ワークショップでは、参加者自身が複数のワークを体験できる。こうした体験を通して、今後自社で展開するワークショップのヒントを得てほしい。

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
少人数セッションにつきお席に限りがございます。
ご参加希望の方は早めのお申込みをお勧めいたします。

GK3 4月25日(木) 17:15-17:45 (30min) 

ガートナー クロージング基調講演 リセット：新たな時代の始まり

バイス プレジデント, アナリスト 池田 武史

デジタルによって構築される新たな世界では、あらゆるものがつながるインフラの駆使を前提としたビジネスの時代が到来する。テクノロジーの進化はリアルとバーチャルの融合を加速させ、デジタル・ツインを生み、インテリジェンスがさらなる進化を促進する。組織のテクノロジー・リーダーは、今こそ、何を継続し何を変えるべきかを改めて問い、すべてを見直す絶好の機会とすべきである。本セッションでは、新たな時代の始まりに何をすべきかについて深く議論する。

